

古川 正之 教育長殿

小平市議会公明党

新しい教育の実現のための環境整備を求める要望書

超高齢化社会を迎える我が国において国づくりの基本は「人づくり」です。未来を担う子ども達の笑顔を守るために教育環境を整備することは最優先事項です。

また、学校が抱える課題が複雑化・困難化してきている中、子ども一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育を進めることが重要と考えます。特に、いじめ等の課題に丁寧に対処する教育環境を整えるには教員が子どもと十分に向き合える時間を確保しなければなりません。

また昨年、国会における公明党の強い要請を受け、文部科学省は低所得者世帯に向けた義務教育の就学援助を入学前に支給できるよう要綱を改正し、本市でも前倒しを予定しています。就学援助制度は義務教育の機会均等の理念からは当然考慮されるべき事業であり、したがって対象者を「経済的困窮者」のみならず、新入学の全児童・生徒まで拡充するべきであると考えます。

教育改革への挑戦、これからの新しい時代に応じた新しい教育の実現のために市教育委員会には子ども達、学校現場を最優先とした環境整備を講じていただきますよう次の通り要望いたします。

記

1. いじめ・不登校・貧困等の課題に対応すべく SNS 等による相談体制の構築すること
2. 教職員定数の確保と業務の適正化の支援を拡充し「チーム学校」を推進すること
3. 学校現場の声を活かした教職員の働き方改革を推進すること
4. 私立高校実質無償化の実現に伴う保護者等への周知徹底すること
5. 就学援助事業がスムーズに実施できるよう、対象世帯および市民に対し丁寧な広報をおこない、文科省の通達に合わせ、私立小中学校の入学予定者への配慮が十分になされること
6. 就学援助事業は教育費の負担軽減のために、将来的には支給対象をすべての新入学児童・生徒に拡充すること
7. 非構造部材を含めた耐震対策、防災機能の強化で安全・安心な学校施設の整備をすること